

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 03-3517-6633

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	3,237	24.5	122	106.0	118	123.8	99	126.5
25年11月期第2四半期	2,600	1.9	59	149.5	52	201.5	44	685.6

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 99百万円 (123.2%) 25年11月期第2四半期 44百万円 (696.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	36.75	—
25年11月期第2四半期	17.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	1,998	464	23.1	167.05
25年11月期	1,508	188	12.4	72.70

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 461百万円 25年11月期 187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	11.8	150	127.6	137	180.3	117	161.7	42.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想に変更はありませんが、当第2四半期連結累計期間における新株予約権の行使によって、発行済株式数が増加しております。上表の1株当たり当期純利益は、この発行済株式数の増加を反映した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	2,765,400 株	25年11月期	2,583,400 株
26年11月期2Q	24 株	25年11月期	0 株
26年11月期2Q	2,719,367 株	25年11月期2Q	2,583,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
- ・平成26年7月3日(木).....アナリスト向け決算説明会
- ・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府及び日本銀行の財政・金融政策等より株高・円安基調が継続しており、企業収益は大きく改善し、個人消費にも拡大の動きが見られます。消費税増税の影響による一時的な減速は見られるものの、国内景気は概ね持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内景気の緩やかな回復を背景に改善傾向にあり、厚生労働省が発表した平成26年5月の全国の有効求人倍率は1.09倍と、18ヶ月連続で上昇しております。幅広い業種で求人が増加し、特に製造業やサービス業においては人材不足感が強まっております。

このような環境の下、当社グループは、当連結会計年度の事業方針である、赤字・先行投資サービスの早期収益化と主力サービスの積極拡大の2点に絞って事業を推進してまいりました。特に主力の3サービス（人材派遣サービス、ロジスティクスアウトソーシングサービス、障がい者雇用支援サービス）については、人材派遣を中心に需要が好調に推移し、順調に拡大しました。一方、赤字・先行投資サービスの早期収益化については、スマートメーター関連の業務が拡大するとともに、他のサービスにおいても黒字化、あるいは赤字の削減が進み、収益貢献することとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,237,717千円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益は122,947千円（前年同四半期比106.0%増）、経常利益は118,364千円（前年同四半期比123.8%増）、四半期純利益は99,949千円（前年同四半期比126.5%増）となりました。

平成26年11月期 第2四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成25年11月期 第2四半期	平成26年11月期 第2四半期	増減率
売上高	2,600,669	3,237,717	24.5%
営業利益	59,687	122,947	106.0%
経常利益	52,890	118,364	123.8%
四半期純利益	44,129	99,949	126.5%

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールにて、フィールド調査アウトソーシング、マーチャンダイジング等のサービスを提供しています。

なお、平成25年12月1日を効力発生日として、会社分割（簡易新設分割）により新たに連結子会社である株式会社エスプールロジスティクスを設立し、株式会社エスプールのロジスティクスアウトソーシング事業を承継しております。

当第2四半期連結累計期間においては、主力のロジスティクスアウトソーシングと障がい者雇

用支援サービスがともに順調に拡大しました。ロジスティクスアウトソーシングにおいては、前第2四半期連結会計期間に業務を開始した神奈川県の大規模物流センターの運営代行業務が売上増加に大きく寄与しております。障がい者雇用支援サービスにおいては、運営する農園への参画企業が計画を上回るペースで増加している他、就労移行支援施設の稼働率と同施設からの就職支援も増加しました。また、フィールド調査アウトソーシングにおいて、電力会社が推進するスマートメーター関連業務が大きく増加しました。一方、損益面においては、ロジスティクスアウトソーシングにおいて新規立ち上げ現場の影響で利益率が低下したものの、その他のサービスの増収効果により増益を達成しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,319,153千円（前年同四半期比40.1%増）、営業利益は124,037千円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、主力の携帯電話販売業務において、キャンペーン業務の積極的な受託やグループ型派遣の推進等により、売上が大きく増加しました。また、コールセンター業務においては、定着率向上のための様々な施策を行い、受注が増加しました。人材の採用市場は依然として逼迫しておりますが、受託業務の長期化を推し進めたため、販売費及び一般管理費の増加率を売上増加率以内に抑えることができました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,973,085千円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は170,737千円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

平成26年11月期 第2四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成25年11月期 第2四半期	平成26年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	2,668,428	3,292,239	23.4%
ビジネスソリューション事業	941,311	1,319,153	40.1%
人材ソリューション事業	1,727,117	1,973,085	14.2%
調整額	△67,759	△54,522	－%
合計	2,600,669	3,237,717	24.5%

営業利益（単位：千円）	平成25年11月期 第2四半期	平成26年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	235,046	294,774	25.4%
ビジネスソリューション事業	90,139	124,037	37.6%
人材ソリューション事業	144,907	170,737	17.8%
調整額	△175,358	△171,827	－%
合計	59,687	122,947	106.0%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から490,411千円増加(32.5%増)し、1,998,925千円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、新株予約権の行使や長期借入金の新規借入によって現金及び預金が増加するとともに、売上の拡大に伴って受取手形及び売掛金が増加したため、流動資産が428,916千円増加しました。また、株式会社エスプールプラスにおいて第二農園の建設を進めていること、及び、グループの基幹業務システムの更新により、固定資産が61,494千円増加しております。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から214,425千円増加(16.2%増)し、1,534,655千円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、短期借入金や未払消費税等、賞与引当金の増加等によって流動負債が174,932千円増加しました。また、長期借入金の新規借入により固定負債は39,492千円増加しております。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から275,985千円増加(146.6%増)し、464,270千円となりました。これは、主に新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加並びに当第2四半期連結累計期間の四半期純利益によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の12.4%から10.7ポイント改善して23.1%になりました。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は243,329千円増加し、729,755千円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比3,341千円減少の82,337千円の収入(前年同四半期比3.9%減)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比較して65,185千円増加し118,075千円であったものの、売上債権の増加を主要因とした運転資本の増加が69,420千円、法人税等の支払額が11,761千円発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比50,394千円増加の88,281千円の支出(前年同四半期比133.0%増)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出54,948千円及び無形固定資産の取得による支出33,835千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、249,273千円の収入(前年同四半期は12,930千円の支出)となりました。収入及び支出の内訳は、短期借入金の増加33,600千円、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出40,482千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入172,900千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年1月15日に公表いたしました平成26年11月期の通期連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,426	729,755
受取手形及び売掛金	645,315	794,903
商品	6,500	2,733
仕掛品	—	3,058
その他	107,170	146,126
貸倒引当金	△9,779	△12,027
流動資産合計	1,235,632	1,664,549
固定資産		
有形固定資産	167,104	202,705
無形固定資産	12,797	40,579
投資その他の資産		
その他	119,436	121,320
貸倒引当金	△26,457	△30,228
投資その他の資産合計	92,979	91,092
固定資産合計	272,881	334,376
資産合計	1,508,514	1,998,925
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,128	121,403
短期借入金	476,400	510,000
1年内返済予定の長期借入金	72,364	91,938
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	15,288	28,618
未払費用	286,118	301,354
賞与引当金	13,780	31,288
その他	188,655	278,064
流動負債合計	1,187,735	1,362,668
固定負債		
長期借入金	98,460	138,404
資産除去債務	26,078	26,215
その他	7,956	7,367
固定負債合計	132,494	171,986
負債合計	1,320,229	1,534,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	237,159
資本剰余金	—	87,159
利益剰余金	37,363	137,312
自己株式	—	△20
株主資本合計	187,363	461,611
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	438	348
その他の包括利益累計額合計	438	348
新株予約権	482	2,310
純資産合計	188,285	464,270
負債純資産合計	1,508,514	1,998,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,600,669	3,237,717
売上原価	1,916,942	2,427,877
売上総利益	683,727	809,839
販売費及び一般管理費	624,039	686,892
営業利益	59,687	122,947
営業外収益		
受取利息	109	119
還付消費税等	—	1,358
受取保険金	—	3,922
持分法による投資利益	976	—
その他	360	218
営業外収益合計	1,446	5,618
営業外費用		
支払利息	6,999	7,253
社債利息	543	135
持分法による投資損失	—	1,671
支払手数料	700	1,140
その他	2	1
営業外費用合計	8,244	10,201
経常利益	52,890	118,364
特別損失		
固定資産除却損	—	288
特別損失合計	—	288
税金等調整前四半期純利益	52,890	118,075
法人税、住民税及び事業税	11,167	26,113
法人税等調整額	△2,406	△7,986
法人税等合計	8,760	18,126
少数株主損益調整前四半期純利益	44,129	99,949
四半期純利益	44,129	99,949

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,129	99,949
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	602	△90
その他の包括利益合計	602	△90
四半期包括利益	44,732	99,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,732	99,858
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,890	118,075
減価償却費	6,948	19,826
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,408	6,020
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,049	17,507
受取利息及び受取配当金	△109	△119
支払利息及び社債利息	7,542	7,388
持分法による投資損益 (△は益)	△976	1,671
固定資産除却損	—	288
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,386	△149,587
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54	708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,268	6,275
未払費用の増減額 (△は減少)	34,007	15,645
その他	△16,238	57,538
小計	91,813	101,239
利息及び配当金の受取額	109	119
利息の支払額	△7,758	△7,260
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,514	△11,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,678	82,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,465	△54,948
無形固定資産の取得による支出	△6,250	△33,835
定期預金の払戻による収入	19,000	—
関係会社株式の取得による支出	△2,028	—
敷金及び保証金の差入による支出	△12,612	△2,425
敷金及び保証金の回収による収入	4,004	2,638
貸付けによる支出	△8,680	—
貸付金の回収による収入	144	289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,887	△88,281
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,802	33,600
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△26,128	△40,482
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
新株予約権の発行による収入	—	3,276
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	172,900
その他	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,930	249,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,861	243,329
現金及び現金同等物の期首残高	559,728	486,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	594,590	729,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金が87,159千円、資本剰余金が87,159千円、それぞれ増加しております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の資本金が237,159千円、資本剰余金が87,159千円、発行済株式数が2,765,400株となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	933,390	1,667,278	2,600,669	—	2,600,669
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,921	59,838	67,759	△67,759	—
計	941,311	1,727,117	2,668,428	△67,759	2,600,669
セグメント利益	90,139	144,907	235,046	△175,358	59,687

(注) 1. セグメント利益の調整額△175,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△176,531千円及びセグメント間取引消去1,172千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,308,365	1,929,351	3,237,717	—	3,237,717
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,788	43,734	54,522	△54,522	—
計	1,319,153	1,973,085	3,292,239	△54,522	3,237,717
セグメント利益	124,037	170,737	294,774	△171,827	122,947

(注) 1. セグメント利益の調整額△171,827千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,188千円及びセグメント間取引消去△638千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。